

りんご黒星病の早期感染による多発が懸念されます。 今後の降雨に注意し、適期に防除を実施しましょう。

現在の状況

- 1 前年の黒星病発生量は平年より多く、本年の伝染源量は多いと考えられる（図1）。
- 2 「ふじ」の展葉期（盛岡）は平年より7日程度早い見込みで、本病の重点防除時期である「花蕾着色期」は4月第4～5半旬、「開花直前」は4月第5～6半旬と見込まれる。
- 3 1ヵ月予報（4月4日、仙台管区气象台発表）では、「花蕾着色期」（4月第3、4半旬）の気温は平年より高く、降水量はほぼ平年並みの見込みであり、重点防除時期に感染好適日が出現すると予想される。

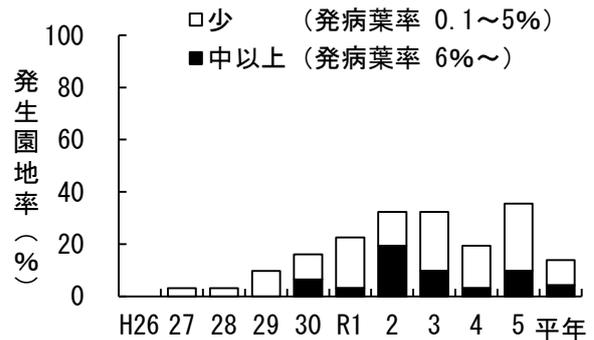


図1 黒星病（葉）の発生園地率の年次推移（年間評価）

防除対策

- 1 重点防除時期は「花蕾着色期」と「開花直前」であり、特に「花蕾着色期」の防除は必須である。
- 2 前年発生園では、「花蕾着色期」にカナメフロアブル、「開花直前」にミギワ20フロアブルを散布する。なお、これらの剤は降雨直後に散布する。
- 3 本病を対象としたDMI剤及びSDHI剤の使用は、耐性菌出現を回避するため開花直前までとする。
- 4 散布ムラが無いように十分量を丁寧に散布する。
- 5 苗木及び未結果樹も成木と同様に防除を徹底する。



写真1 果そう葉の葉裏病斑



写真2 幼果の病斑

【利用上の注意】

本資料は、令和6年4月1日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。

- ・ 農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・ 農薬使用の際は（1）使用基準の遵守（2）飛散防止（3）防除実績の記帳を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆この情報は、いわてアグリベンチャーネットでもご覧いただけます。

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/boujo/index.html>

